



豊岡市教育委員会 2017(H29) 7.11

No.4

豊岡市のホームページにもアップしています

豊岡市HP→左中段「⇒教育委員会」→「⇒教育研修センター」からご覧いただけます

校内研修担当者研修会

6月30日に校内研修担当者研修会を行いました。今回の研修会の趣旨は、「授業研究を核にした校内研修を充実させるための内容・方法等について、交流を行うとともに研究者の講義を聞くことで研修担当者の研究及び校内研修のマネジメント能力を高める」です。

研修会では、まず「授業研究を核にした校内研修」という言葉からイメージすることについてペアで交流することから始めました。参加者のみなさんからは、「子どもの事実に学ぶ」「5つの『徹底・継続』実践事項を軸にした授業づくり」「教師の授業力を高める」等のキーワードが聞こえてきました。続いて、市内小・中学校、2校から実践報告をいただきました。すべての先生方が主体的に研修に取り組めるよう工夫したこと、苦労したことなど、実践に基づいた報告をいただきました。

つぎに、IPU環太平洋大学 次世代教育学部 長谷浩也教授に「教員が主体的に研修に取り組むための校内研修担当者としての役割」について講話をいただきました。長谷先生からは、校内研修を深める視点として、次の4つのことを提示いただき、それぞれについて具体的な事例を基にお話いただきました。

- 1 課題、目標を共有していますか
- 2 協働作業や交流する場を設定していますか
- 3 すべての教員が学んでいますか
- 4 日々の実践につながる授業研究になっていますか



そして、「校内研修と日々の授業改善をつなげるために取り組んでみたいこと」について、グループ協議をしました。参加者からは「課題を焦点化して事後研究を深めること」「授業研究を生かし、継続的な授業改善を行うこと」「子どもや授業について、同僚から学ぶことを日常化すること」などの声が聞かれました。

特別支援教育コーディネーター 介助員・スクールアシスタント研修会

研修会では、出石特別支援学校 仲井盛泰先生に「学校組織で取り組む特別支援教育の推進」をテーマに講話を聞きました。その後、グループに分かれて、児童生徒に対する組織的な関わりや指導方法について各校の実践を交流しました。

豊岡市教職員短期社会体験研修 (先生の「トライやる」)

本事業は、今年で15年目を迎えます。今年も33名の先生方が、26事業所に分かれて研修されます。体験を通して感じたことや学んだことなどを子どもたちや同僚と語り合い、学びの輪を広げていただくことを期待しています。